

特別講義 (2単位)

担当者氏名 専攻教員全員

◆学習・教育目標

専攻教員がアナウンスする学内外で実施される学会や研究機関が開催するシンポジウム、ワークショップ、研究集会等へ参加し、専門的・学際的知識を蓄積する。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

熱帯作物 熱帯園芸 熱帯作物保護 農業環境科学
農業開発経済 農業開発政策・普及 地域農業開発

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	特別講義についてのガイダンス)	特別講義の狙いと実施方法、提出する書類およびレポート作成に関するガイダンス	各回の特別講義で得た専門的・学術的知識についてまとめたレポートを、それぞれの特別講義をアナウンスした教員に提出し、評価を受ける。
2	特別講義への参加	専攻教員がアナウンスする特別講義に参加し、種々の専門的・学術的知識を習得する	
~			
14			
15	まとめ	特別講義で得られた知識を総括する	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

各回の特別授業で資料が配布される。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

特になし。

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

参加ごとにプログラムのコピーとレポートを1週間以内に提出することを求める。上記に参加し、専門的・学際的知識を習得したと判定された場合、単位を認定する。認定に当たっては、在籍中の通算90分×14回相当以上の参加、あるいは実質参加時間の集計が90分×14回分以上を要件とする。

◆オフィスアワー

随時、指導教員と相談のこと

◆その他受講上の注意事項

教員の指導を受けた日時や時間と、指導に応じて予復習した内容を毎回記録し、承認印を受けること。

認定の詳細は講義の開始時に配布するので、十分に理解して進めること。

単位認定に該当する学内外で実施される学会や研究機関が開催するシンポジウム、ワークショップ、研究集会などは大学院会議などで決定する。院生への周知は大学のメールを活用する。